

# “報告”

## 委員会のうごき

■学校法人タイケン学園に期待  
■11月末基金残金12億円

### 総務文教常任委員会

①旧世羅西町にある廃校、その他の財産管理状況調査、今後の利用方針について。

(1)黒川小学校は、すでに校舎が解体されて駐車場として地域住民が利用している。

(2)津田小学校は、学校法人タイケン学園（広島ウエルネススポーツ専門学校）に貸し、スポーツ選手や指導者養成をする施設となる。

(3)山福田小学校は、廃校となった各小学校生徒の作品・絵・記念品などが展示されているが、貴重な物品の適正な保存と建物の管理を要請する。

(4)津口財産区は、江の河内を中心に25筆、約18ヘクタールの山林・宅地。

②組織、機構に関する事務調査。

(1)新町になって各課（17課と支所）の位置と現場の状況を調査し、事務は順調で適切に対応していると言明を受ける。また、公民館の運営状況は、町内に13の公民館があるが、旧3町にそれぞれカラーの違い、また、館が受け持つ地域の大小、事業計画の大小、濃淡があること。予算も若干の差があること。臨時職員を一定期間配置している館、していない館の差。館長の週20時間の執務時間、形態、土日や夜間の執務、公務災害、その他勤務について明確な指針を示すことが必要ではないか。公民館とし

て一般住民へのサービスをどうするか、どこまでやれるか。そのあり方など関係機関の協議が早急に必要ではないかと指摘した。

③財政状況について

(1)合併時における旧3町の財産持ち寄り状況の資料請求を求める。未監査のため監査後の資料提出となる。合併時の基金状況は21億7千108万円余りで、現在12億円の残金であり土地建物は公有財産、土地

304万8,740㎡、建物は13万1,296㎡と説明を受ける。

④非核平和宣言について

(1)新世羅町として「非核平和宣言」をするよう委員会として求める。町長は会期中に提案するとの答弁があったため、議会の宣言は保留することにした。

⑤陳情審査について

(1)陳情審査7件、委員全員慎重に調査し、審査した。

廃校となり記念品等  
展示される旧山福田小学校



## 福祉バス運行見直しせまる 住民の要望との隔たり精査検討する

### 厚生常任委員会

#### ①福祉行政について

(1) 高齢者福祉事業については、合併時に統一するよう調整されている。ただし、敬老会、追悼式は平成17年度に予算と場所等を含め調整される。

#### ②保健・医療行政について

(1) 国保事業は平成17年度から制度の統一をはかる。保険税は旧世羅町、甲山町程度となる見込み。税の滞納処理については、改善しながら努力することを目指す。

(2) 福祉バスの運行については、平成17年度に見直しする。新交通システムは関係課で対応について協議をすすめるよう求める。

(3) 介護予防事業は制度

改正が予測され、今後の方向を定める重点政策として検討を求める。

#### ③保育行政について

(1) 国庫負担金の廃止で町の負担が4千万円増加し、一方では未満児保育の要望が増えてきている。こうした状況下で、保育所の再編整備については統合、廃止、分割も考えられる。

#### ④環境行政について

(1) ゴミ対策は収集業務、委託契約の内容の精査、検討と報告を求める。

(2) 宇津戸地区臭気問題について、これまでの経過と取り組みの説明を受け、いまだ特定されない臭気の原因究明に、委員会

として現地調査する。

(3) 町営住宅の現状説明を受ける。その内容の中で、町営住宅入居者が地域活動に参加していない例があるとの説明、対応策を研究し、改善するよう求める。

(4) 小型浄化槽の助成について、他町の様々な助成策を調査し、研究するよう求める。

(5) 上下水道の概要について説明を受ける。

下水道事業計画は財政硬直化の中で、50億円余りの膨大な事業であり、経過をみながら慎重に進めるよう求めた。

#### ⑤請願審査について

(1) 請願審査1件、委員全員慎重に調査し審査した。

## 下水道平成20年供用開始 行刑施設法務大臣に誘致陳情

### 産業建設常任委員会

①世羅町過疎地域自立促進計画による事業の進捗率、並びに上下水道事業に係る事務調査。

(1) 上水道事業計画の説明を求め、上津田、黒川、中、黒淵、徳市地区の簡易水道事業は、村づくり交付金事業で実施

平成17年度ダム水利権を取得予定。事業費は約22億7千万円と試算されている。

(2) 下水道事業は、平成17年度に処理場造成工事並びに施設の詳細設計を行い、平成18年、19年度に処理場建設

を行う予定。

#### ②台風被害について

(1) 台風による農業被害は429農家、4千96万6千円の見込(農災調査による)

#### ③行刑施設誘致陳情について

(1) 平成16年12月7日に広島県知事、小島県議、世羅町長、規成同盟会会長、世羅町議会議長・議員計6名により法務大臣へ要望活動を行う。現在全国で64ヶ所要望、本

#### ④陳情審査について

(1) 陳情審査4件、委員全員慎重に調査し、審査した。



## 無料化の高速道

### 甲山I・C以南工事発注80%強執行

#### 尾道・松江線対策特別委員会

12月20日、合併後、初の委員会を開き、

現地調査及び事務調査を行う。

#### ●進捗状況

宇津戸から御調町に向かつての第一トンネル工事は今年度発注予定、甲山I・C以南の橋梁部門は、すでに発注済みである。

甲山I・C以北は、用地測量も終わり、用地取得は来年度からの予定。

日本道路公団尾道工事事務所、林所長によると、完成年度・部分開通年度とも、今のところ、県の財政の問題もあり明言はできないが、甲山I・C以南で順調に予算が付けば5～6年後が予想される。また、尾道と甲山間の部分開通はあり得る。

#### ●今後の取り組み

甲山インター付近の地域振興を、どのように



盛土を待つ大型ボックスカルバート

計っていくのか早急に検討していく。

甲山I・C以北の関係する地権者等への今後の見通しなどの方向性を出し、地権者会の設置等、交渉にむけ早急に対応して行く。

#### ●その他

この高速道路は、無料という好条件を生かすべく、早期完成を願い第一回委員会を終える。

## 世羅町活性化の

### 起爆剤として期待

#### 県民公園建設特別委員会

12月21日、現地調査及び事務調査を行う。

#### ●進捗状況

農業公園は、計画面積20ヘクタールのうち、1期工事4.8ヘクタールで、農畜産物処理施設(ワイナリー)の建築工事・付帯施設の工事が進んでいる。

県民公園については、1期工事のうち、造成工事が約80パーセント、アクセス、アプローチ道路が77パーセントの進捗状況である。

#### ●運営方法について

平成18年4月のオープンにむけ、株式会社セラアグリパークの新体制・ワイン用葡萄の生産・集客対策等について、方向性を具体的に示すよう求める。県民公園、農業公園が、世羅町内に数多くある観光農園を結び、拠点となり、輝く世羅台地の起爆剤となることを望んで初の委員会を終える。



造成中の県民公園

皆さんからの  
陳情と請願  
このように決めました

#### ■採択となったもの

◎「食料・農業・農村基本計画」見直しに関する陳情

提出者 食・緑・水・環境を守る広島県民会議 会長 中川 輝雄

◎「三位一体改革」全体像に関する議会意見書採択についての陳情

提出者 憲法と平和を守る広島共同センター 代表 藤本 幸作

◎子ども会育成に関する陳情

提出者 世羅郡旧三町の子ども会育成会連合会

◎通学に関する助成についての陳情

提出者 世羅中学校PTA会長 光元 信能

西太田小学校PTA会長 法野 耕壮

津久志小学校PTA会長 堂迫 康昭

大田小学校PTA会長 原田 稔

大見小学校PTA会長 金重 豊

◎地元建設業者に対する公共工事の確保と工事施工上の諸問題に関する陳情

提出者 上下建設業協会世羅支部会

会長 山平 正登

◎地域農業集団への支援に関する陳情

提出者 甲山町地域農業集団連絡協議会 会長 大工谷秀夫

世羅町地域農業集団連絡協議会 会長 道下 利明

世羅西町地域農業集団連絡協議会 会長 吉田 務

◎世羅町測量設計協会への支援に関する陳情

提出者 世羅町測量設計協会 会長 宮本 秀昭

◎平成17年度補助金予算計上についての陳情

提出者 世羅町観光協会 会長 松尾 義和

◎平成17年度地方交付税所要総額の確保に関する意見書の提出について

提出者 広島県町村議会 会長 安原 保元

#### ■継続審査となったもの

◎家庭「ミ」の収集を無料にすることを求める請願書

◎三位一体改革における国土保全施策(治山事業)にたいする請願

◎「憲法改悪反対」意見書採択を求める要請書